NIE実践報告

1．タイトル：政権選択とは何か

2．学校名

北海道札幌市立定山渓中学校

3．実践者名（代表者名）

安孫子和典

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科(公民)　8人

6．単元（本時の学習課題）名

単元「現代の民主政治と社会」　小単元「現代の民主政治」

7．目標（狙い）

・民主主義の意味を理解し、民主主義を支える主体としての自覚を深める。
・選挙の意義を理解し、主権者としての立場から選挙権の意義についての理解を深める。
・政治参加の意義を理解し、情報の大切さとマスコミの役割について考察を深める。

8．評価の視点

・民主主義を支える主体としての自覚を深めることができたか。
・主権者として、選挙の大切さを理解し、選挙民としての自覚と意欲をもつことができたか。
・情報の大切さを知り、世論についてマスコミの役割について多角的に考えを深めることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

・人々の意見を政治に生かす(0.5)　・民主主義とは(0.5)　・選挙のしくみと課題(1)
・政治参加と世論(2)　・政党と政治(2)本時(2/2)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・8月に衆議院が解散し、総選挙がおこなわれることを確認し、新聞紙上で「政権交代」に注目が集まっていることを確認する。
・そこで、「政権交代について考えてみることにする。(本時の学習課題)
・なぜ、今回の選挙で政権交代が注目されているのかを新聞記事をもとに検証する。
・長期政権と政権交代がある場合のよい面、悪い面について考えを深める。
・今回の選挙で投票するとしたら、何を基準に投票するかを考える。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

今回の衆議院選挙直前の情勢は、今まであまり政治に関心のなかった生徒にも興味を起こさせるものであり、校内に設置した新聞閲読コーナーでも、例年以上に多くの生徒が新聞を閲覧していた。また、毎回の授業で必ず授業直前の新聞報道に触れたが、生徒の反応は非常によかった。この時期は社会的に政治に関心が高かったため、生徒の関心も高かったと考えられる。新聞をもとに授業は3月の下旬に実施したが、それまでの8ヶ月の間

12．成果と課題

今年は公民分野「現代の民主政治」の単元の授業と並行して、実際の政治状況が刻々と変化したため、毎時間その授業直前の政治状況を踏まえて授業を進めていった。静岡県の知事選や鳩山総務大臣の更迭、東京都の都議選はこの間の出来事であり、マスコミでの世論調査が発表された。また、そのつど衆議院総選挙への影響についての報道があった。そのため授業のたびにその話題をとりあげて、授業構成ができた。その結果、生徒の興味が例年にくらべて大変高く、一人ひとりの生徒が、例年以上に考えを深めることができた。興味関心の大きさが、生徒の理解をうながし、考えを深めるうえで、いかに重要かを、あらためて認識した。今年のような状況は、そうあるわ